

# 専門学校の現状等について

令和3年度「専修学校専門課程（専門学校）における  
障害のある学生・生徒への支援にかかる理解・啓発セミナー  
—障害者差別解消法の改正について—」

文部科学省総合教育政策局  
生涯学習推進課専修学校教育振興室

## **(項目)**

**1. 専門学校の概要等**

---

**2. 職業実践専門課程**

---

**3. 専修学校 #知る専**

---

**4. その他**

---

# (項目)

1. 専門学校の概要等

---

2. 職業実践専門課程

---

3. 専修学校 #知る専

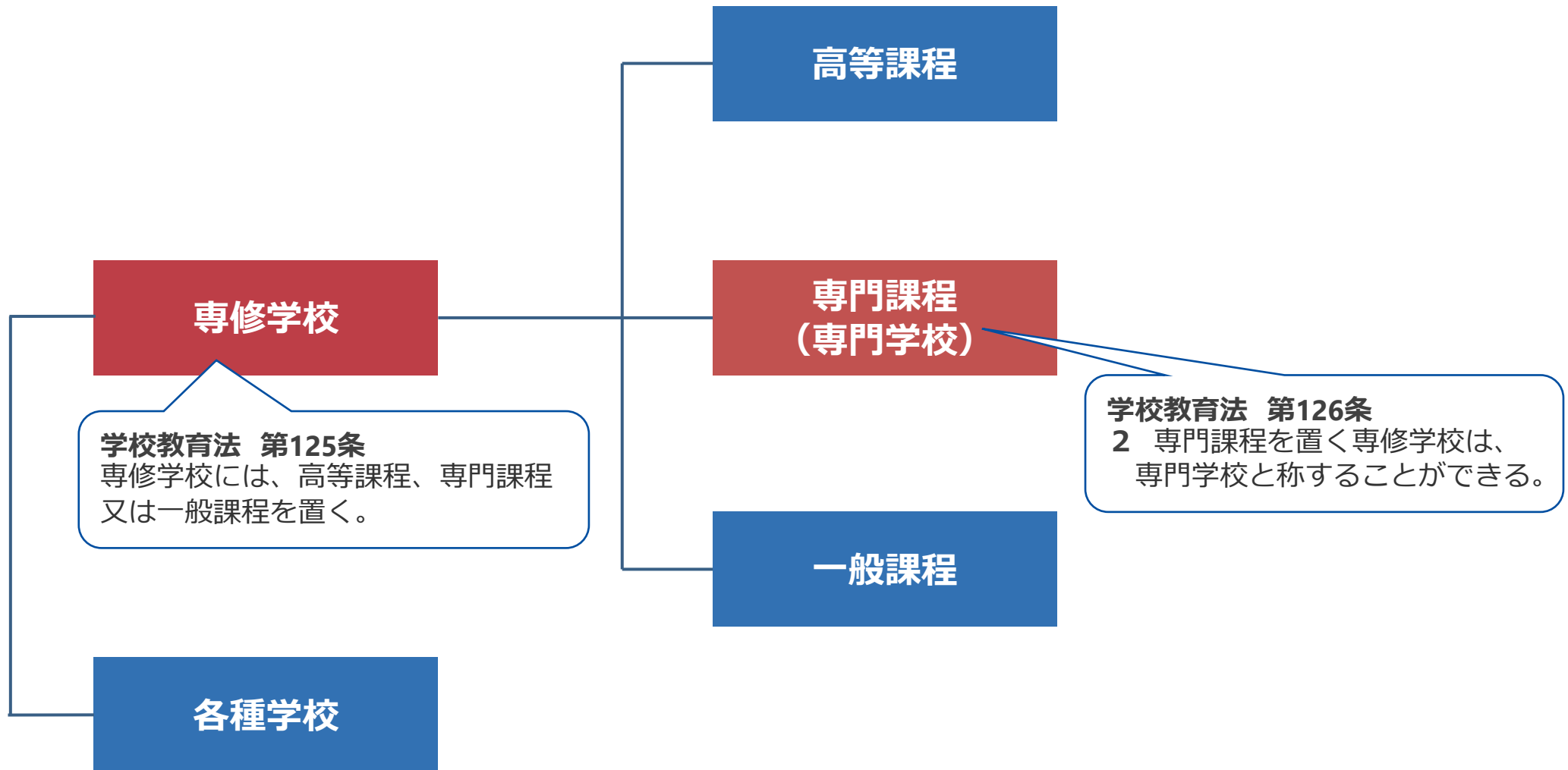
---

4. その他

---

# 専門学校等の定義・位置付け

専門学校とは、専修学校のうち専門課程を置く学校をいう。



# 専門学校等の学校数・生徒数 等

専門学校は、全国に約2,800校設置されており、約60万人の生徒が在籍する。

## ○ 専修学校の要件等

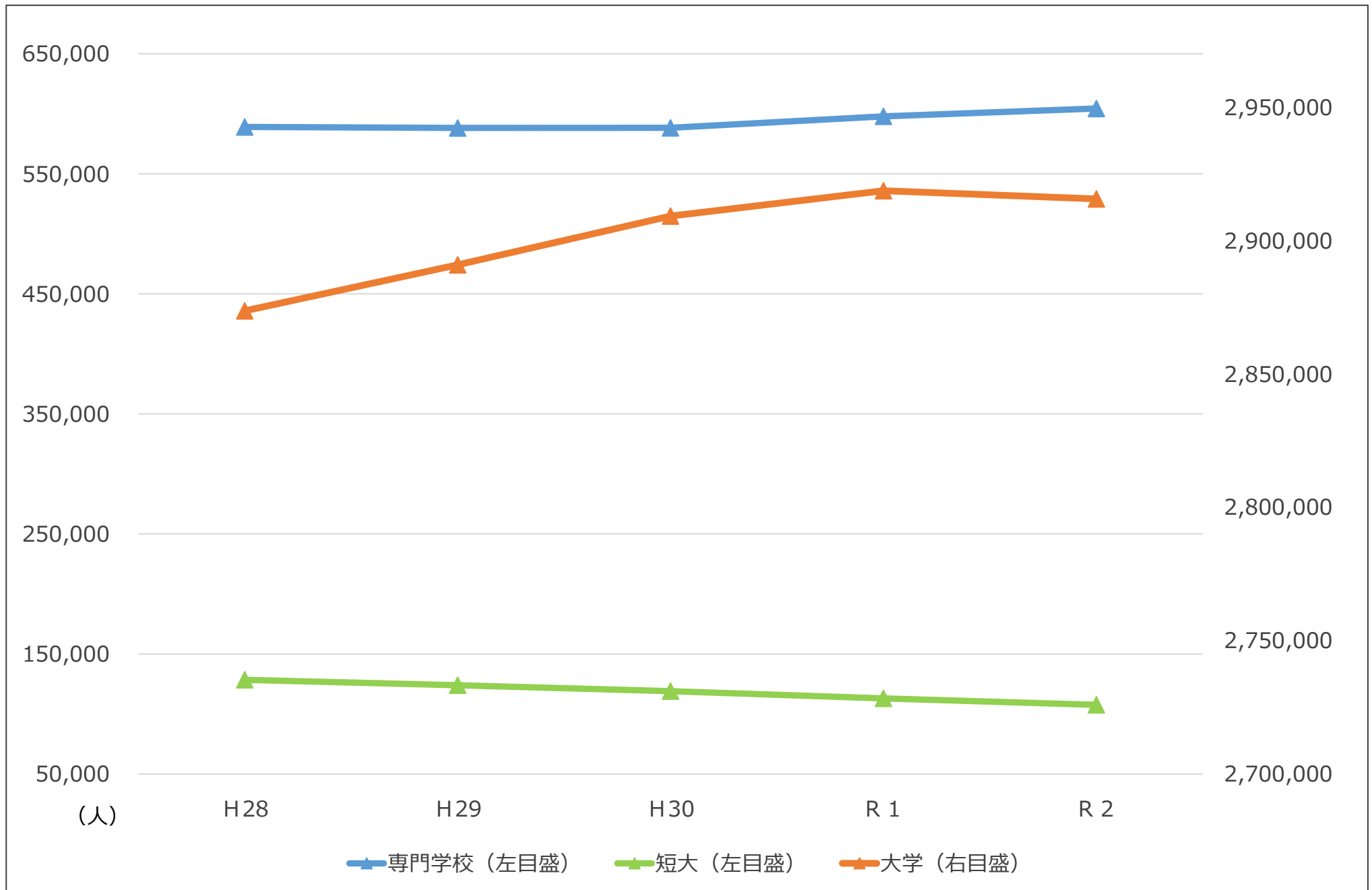
目的	職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る。（学校教育法第124条）
要件	修業年限1年以上、年間授業時数800時間以上、常時40人以上の在学学生 等

## ○ 専修学校の現状

課程	入学資格	学校数	学生・生徒数
高等課程（高等専修学校）	中学校卒以上	404校	34,075人
<b>専門課程（専門学校）</b>	<b>高校・高等専修学校（3年制）卒以上</b>	<b>2,779校</b>	<b>604,415人</b>
一般課程	限定なし（学歴不問）	143校	22,684人
（参考）大学 ※学部、大学院、専攻科等含む	—	795校	2,915,605人

出典：R2年度学校基本調査速報

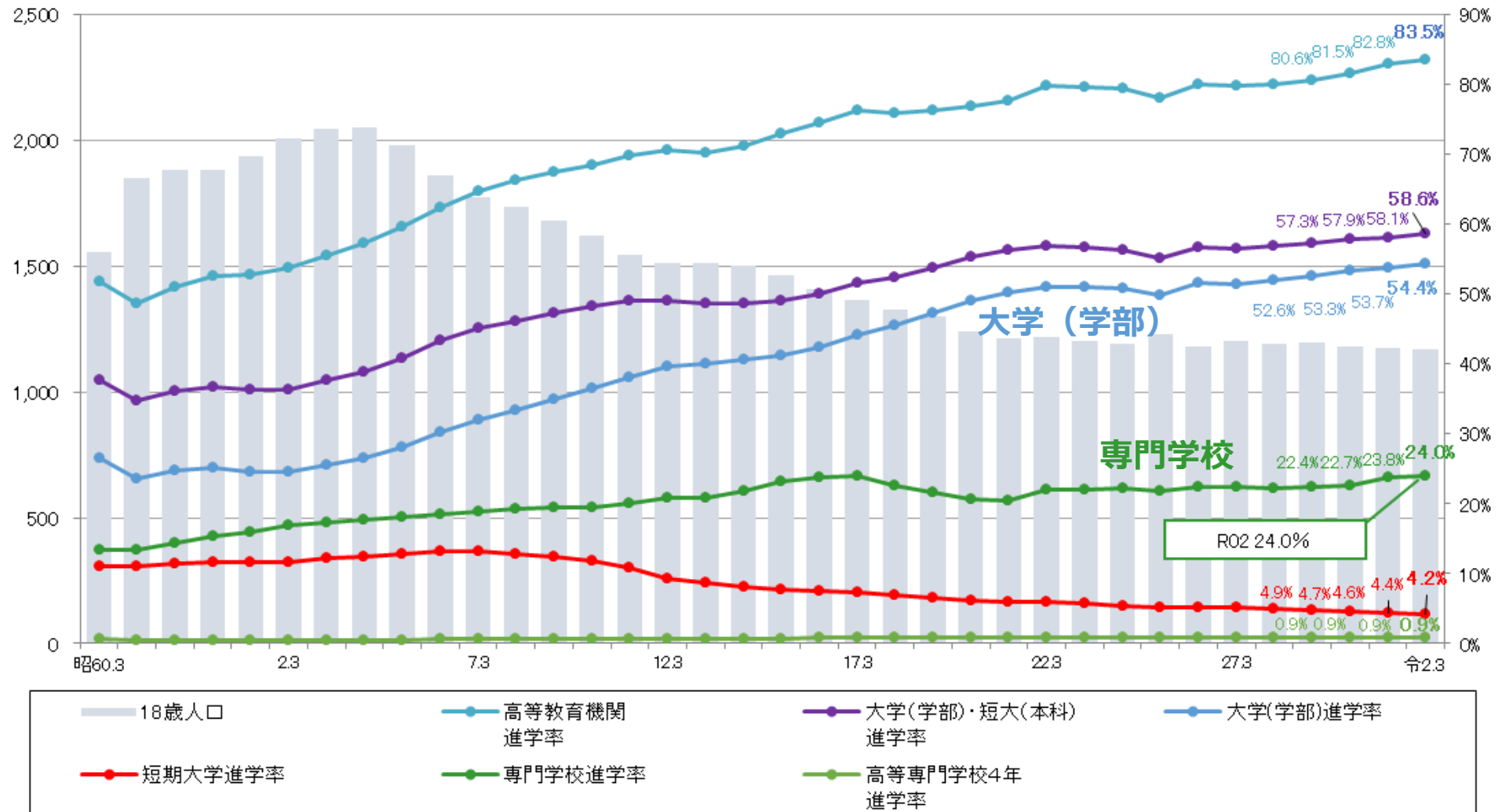
# 高等教育機関の生徒数の推移



出典：R2年度学校基本調査速報

# 高等教育機関の進学率

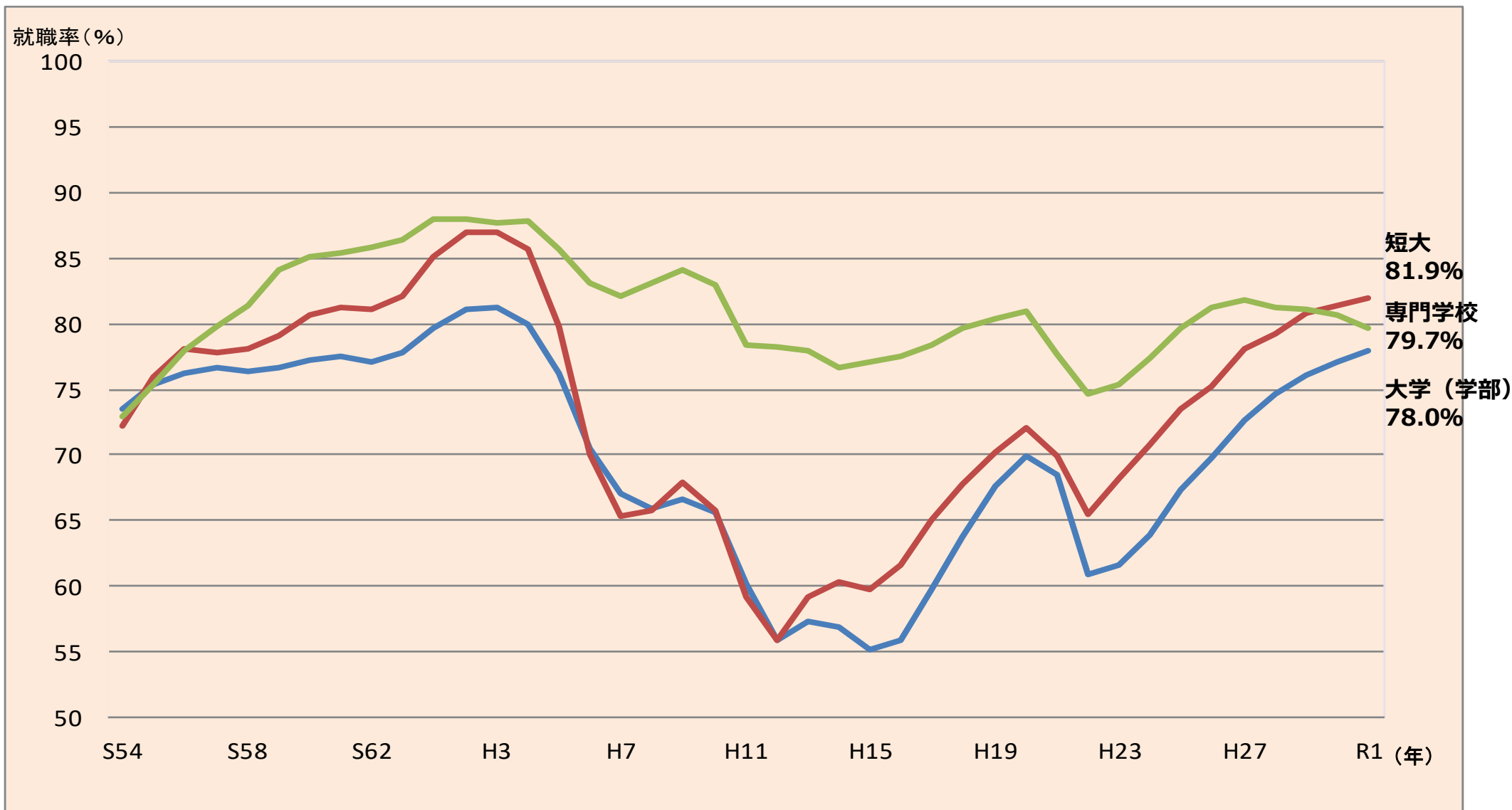
18歳人口に占める高等教育機関の入学者のうち、専門学校は24%を占める。



(出典：学校基本統計)

# 専門学校における卒業生に占める就職者の割合の推移

下記の数値は、各学校段階の卒業生のうち卒業後すぐに就職した者の割合を示す。



※各年3月卒業生のうち、就職者の占める割合の占める割合である。  
※就職率の算定に用いた就職者数には、一時的な職に就いた者は含まない。

資料：文部科学省「学校基本統計」

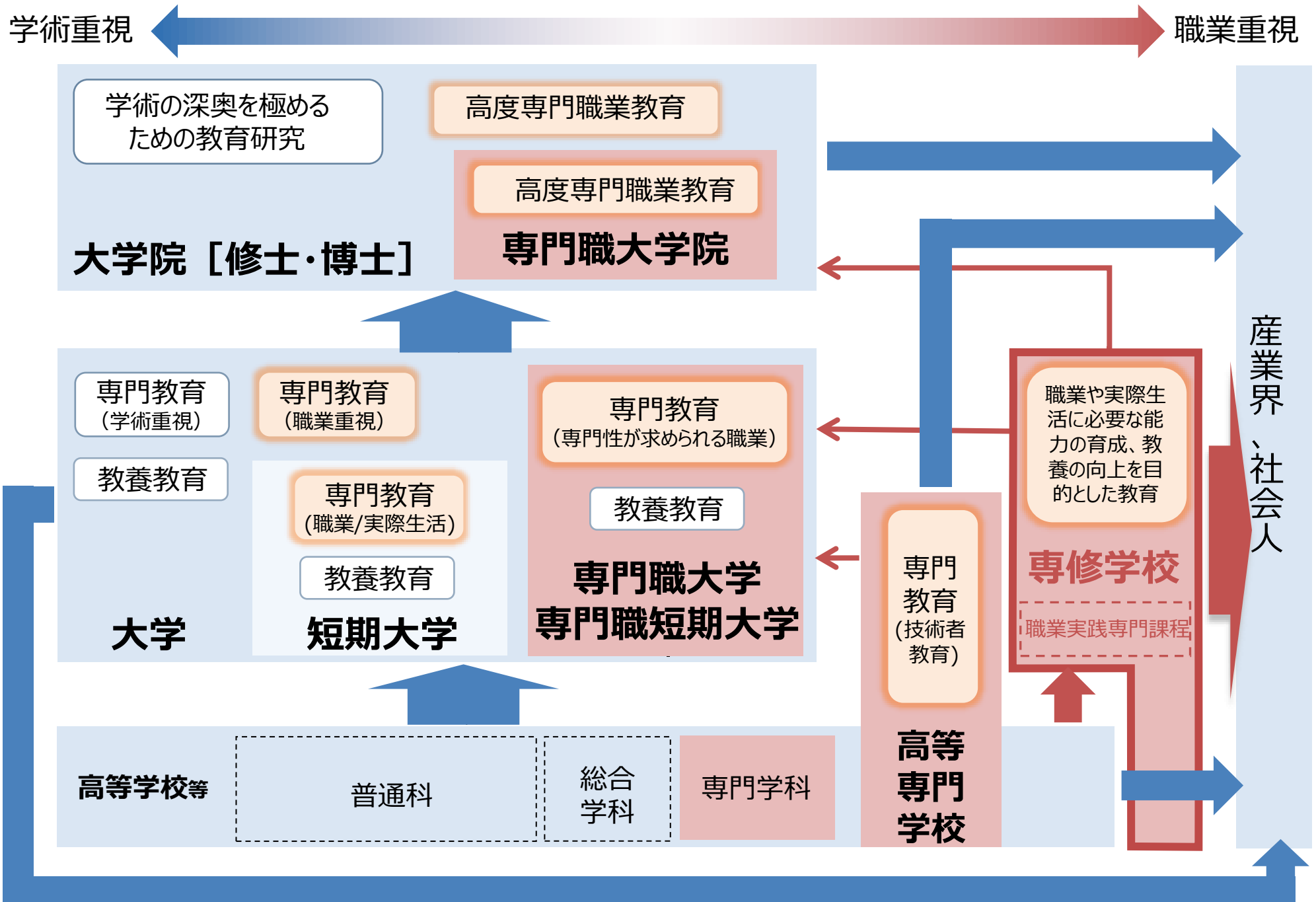


# 専門学校における8つの分野

専門学校では、幅広い教育を行っているところ、目的に応じて8つの分野に区分される。

No.	分野	主な設置学科
1	工業	情報処理、自動車整備、土木、建築 等
2	農業	農業、園芸、フラワービジネス、動物管理 等
3	医療	看護、歯科衛生、理学療法、柔道整復 等
4	衛生	調理師、製菓、理容、美容、エステ 等
5	教育・社会福祉	保育、社会福祉、介護福祉 等
6	商業実務	経理・簿記、旅行・観光・ホテル、医療秘書 等
7	服飾・家政	ファッションデザイン、和洋裁、スタイリスト 等
8	文化・教養	デザイン、音楽、演劇、写真、公務員 等

# 高等教育機関の役割分担のイメージ



# 専門学校等に関するこれまでの主な制度改革等の概要

昭和51年  
制度発足

昭和57年  
私立学校振興助成法改正

平成18年  
教育基本法改正

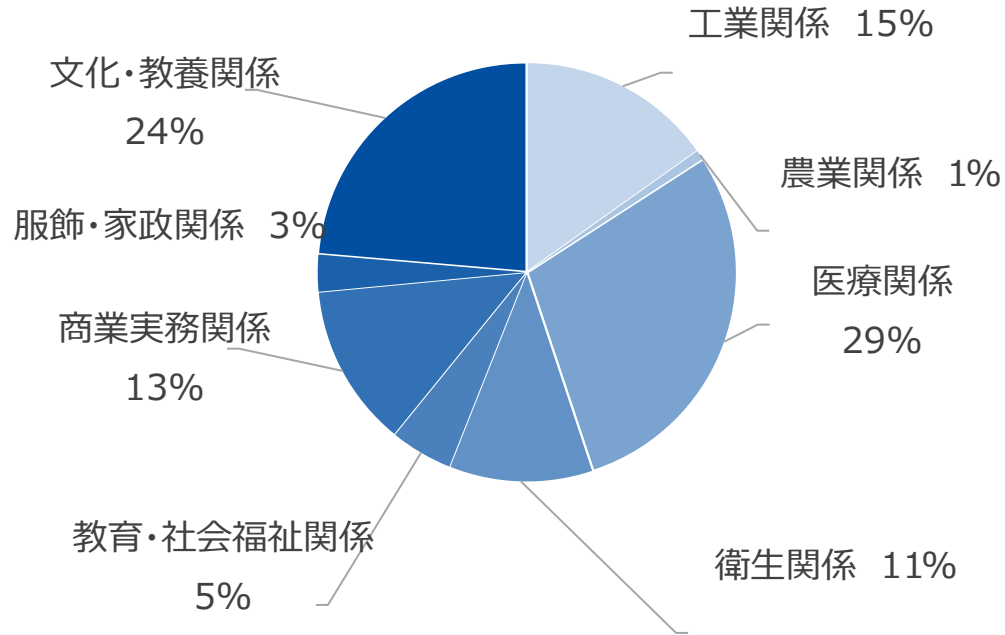
令和2年7月現在

<p>修了者の学習成果の評価</p>	<p>【平成7年】 「専門士」の称号付与 専門課程・2年以上、試験等に基づく課程修了の認定等</p> <p>【平成17年】 「高度専門士」の称号付与 専門課程・4年以上、試験等に基づく課程修了の認定等</p>
<p>大学院との接続</p>	<p>【昭和60年】 [高等課程・3年以上] 大学入学資格の付与</p> <p>【平成10年】 [専門課程・2年以上等] 大学編入学資格の付与</p> <p>【平成17年】 [専門課程・4年以上等] 大学院入学資格の付与</p>
<p>教育の質の向上</p>	<p><b>専修学校制度の施行</b></p> <p>【平成14年】 情報の積極的提供の義務化 自己点検・評価等の努力義務化</p> <p>【平成16年】 財務情報の公開の義務化</p> <p>【平成19年】 自己評価の義務化等・学校関係者評価の努力義務化</p> <p>【平成24年】 単位制・通信制の制度化</p> <p>【平成25年】 「職業実践専門課程」制度創設 「専修学校における学校評価ガイドライン」の策定</p> <p>【平成29年】 「これからの専修学校教育の振興のあり方について（報告）」</p> <p>【平成30年】 「キャリア形成促進プログラム」制度創設</p>
<p>学校間における修学の相互評価</p>	<p>【平成3年】 大学等における専門学校教育の単位認定</p> <p>【平成5年】 高校における専修学校教育の単位認定</p> <p>【平成11年】 専修学校における大学等の学修の履修認定に係る範囲拡大 [1/4→1/2]</p> <p>【平成24年】 専修学校が授業科目の履修とみなすことができる学習の範囲の拡大(高等学校専攻科、職業訓練等)</p>
<p>助成・税制</p>	<p>【昭和55年】 日本育英会奨学金事業の対象化</p> <p>【昭和60年】 専修学校補助等に関する地方交付税措置</p> <p>【昭和58年】 学校法人・準学校法人への施設整備費創設</p> <p>【昭和41年】 勤労学生控除制度創設</p> <p>【平成9年】 準学校法人の設備整備費補助対象化</p> <p>【平成18年】 勤労学生控除制度の対象者拡大</p> <p>【平成22年】 高等課程生徒に対する「高等学校等就学支援金」の支給</p> <p>【平成23年】 学校法人・準学校法人等に対する個人からの寄付の税額控除の導入(平成27年及び平成28年に要件緩和)</p> <p>【平成25年】 高等専修学校の授業料減免措置に関する地方交付税措置を開始 JASSO奨学金事業の対象拡大(専門学校の修業年限2年未満の課程も新たに対象化)</p> <p>【令和2年4月】 高等教育の修学支援新制度</p> <p>【平成29年】 給付型奨学金(平成30年から本格実施)</p> <p>JSC災害共済給付制度の高等課程対象化</p>

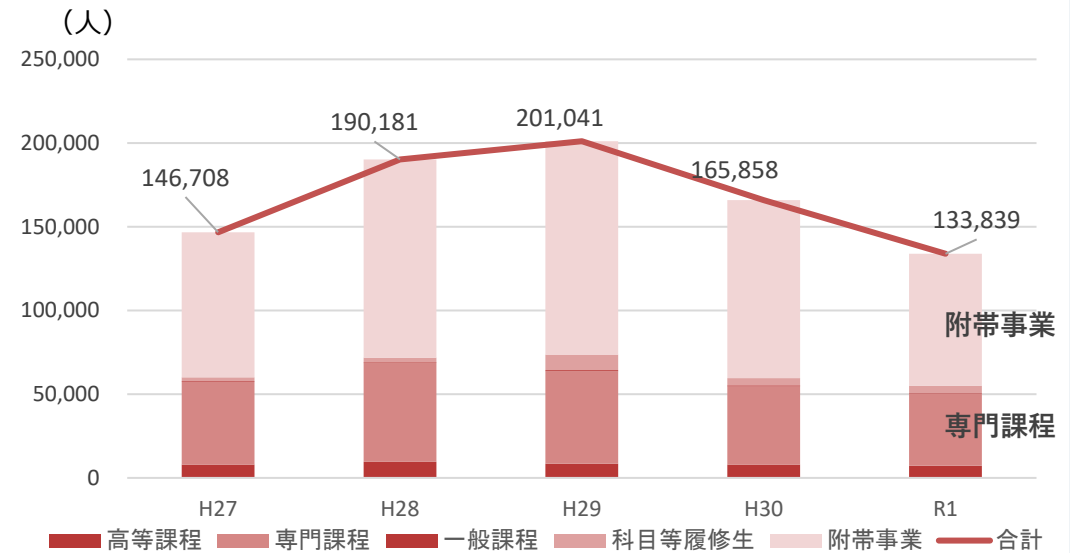
# 専門学校による職業人材ボリュームゾーンの形成

専門的な知識・技術を身に付け、多様な現場において求められるプロフェッショナル人材を養成する。

## <専修学校の分野別生徒数>



## <社会人受講者数の推移>

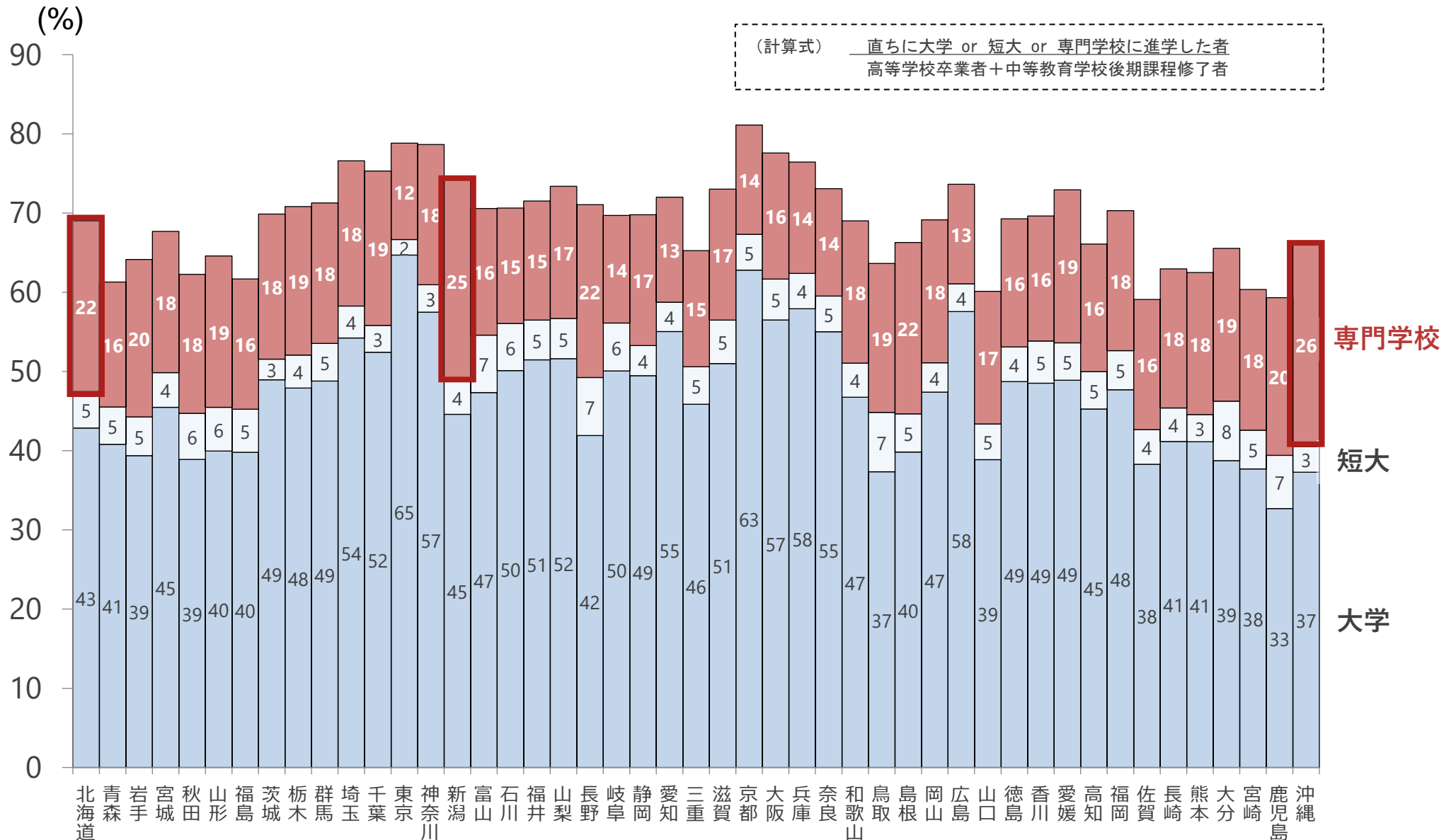


出典: 文部科学省「学校基本統計」(令和2年度)、  
文部科学省「私立高等学校等実態調査」(令和2年度)

※比率は小数点以下第1位を四捨五入しているため  
合計が100%にならない。

# 都道府県別高校新卒者の進学率

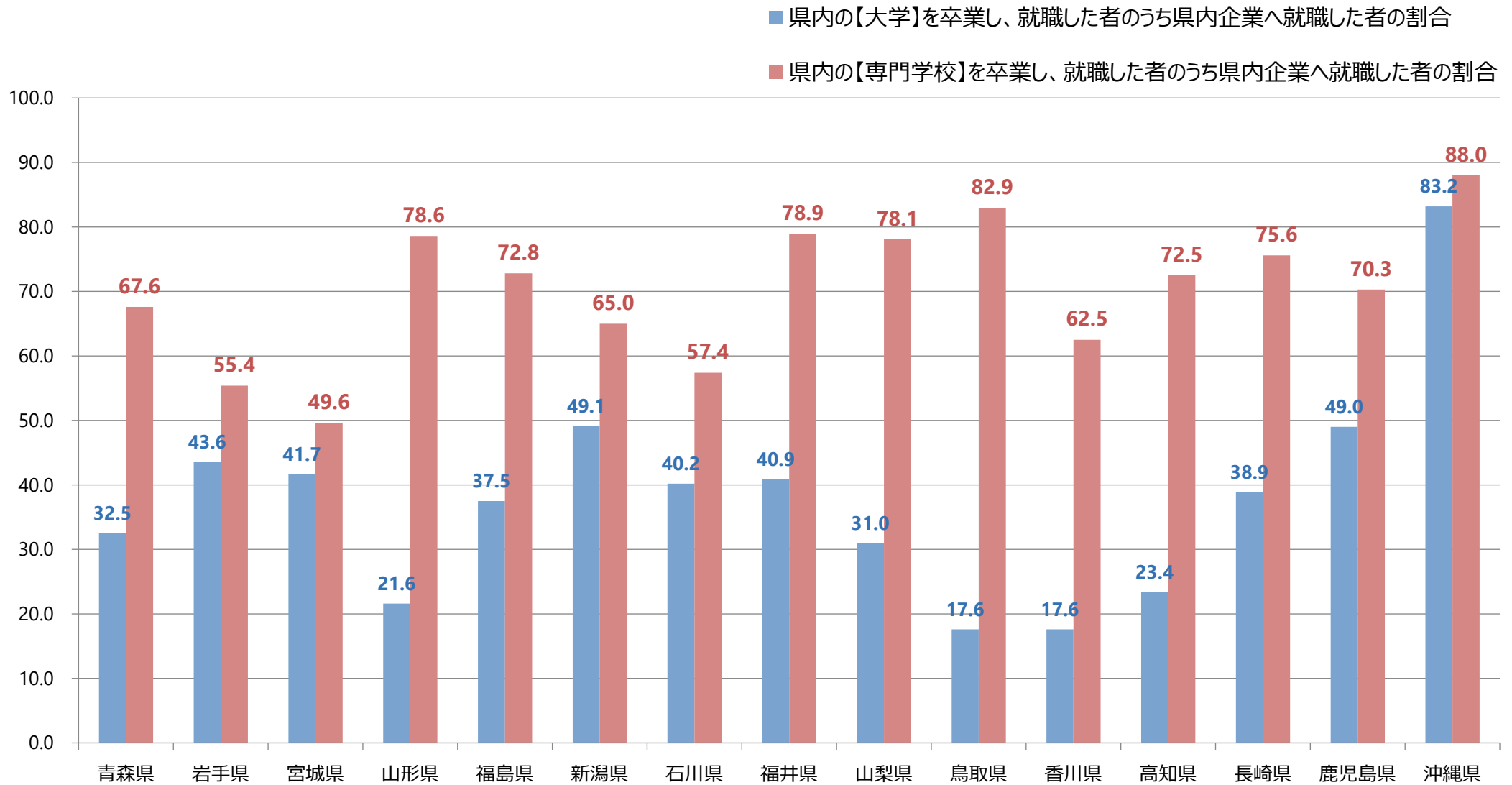
高校新卒者の専門学校進学率は、都道府県ごとに様々である。



出典：令和元年度学校基本統計

# 専門学校・大学卒業者における地元就職の状況

専門学校の卒業者は県内企業へ就職する割合が高い。



平成30年3月現在  
文部科学省専修学校教育振興室調べ（各県の労働局提供資料より作成）

# 高等教育の修学支援新制度

## お金の心配なく学び続けたい学生のみなさんへ

高等教育の修学支援新制度



### 2020年4月から新制度がスタートしています!

対象

支援内容

授業料・入学金の  
免除/減額

+

給付型奨学金の  
支給

申請期間

2021年4月以降(学校ごとに異なります)

- 2020年度に申し込めなかった人、または認定を受けられなかった人でも4月以降に申し込めます!
- 収入が一定金額以下であれば、住民税非課税世帯でなくても支援の対象となる可能性があります。  
(世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定 ※ 学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要があります。)
- 特に、以下のような人も、支援対象となり得るので、制度について調べてみましょう!
  - ・貸与型奨学金(無利子・有利子)を借りている人 ⇒ 新制度なら給付型奨学金を受けられる可能性があります
  - ・今まで奨学金や授業料等の減免を受けていなかった人 ⇒ 支援の内容が大幅に充実するので確認してみましょう



### くわしい情報はこちら

文部科学省 特設HP



日本学生支援機構  
進学資金シミュレーター



「学びたい気持ちを応援します」  
(制度全体の概要を確認できます。)

「給付奨学金シミュレーション」  
(自身が対象となるかななどを  
だまかに調べられます。)

### 支援内容や手続きなどの相談窓口

- 日本学生支援機構 奨学金相談センター  
電話:0570-666-301(月~金, 9:00~20:00)  
\*土日祝日, 年末年始を除く。通話料がかかります。  
\*給付型奨学金のほか, 貸与型奨学金や返還のご相談も可能です。
- 各大学・専門学校等の学生課や奨学金窓口  
申込手続きのスケジュールや個別の提出書類は,  
在学中の学校の学生課や奨学金窓口にご相談してみましょう。

## 授業料や学生生活に係る費用にお悩みの 専門学校生へ

### 高等教育の修学支援新制度 (年収～380万円(4人世帯の場合))

返済不要！

- **授業料等減免** 年額最大59万円  
(住民税非課税世帯・私立専門学校生の場合。別途入学金も支援)
- **給付型奨学金** 年額最大91万円  
(住民税非課税世帯・私立専門学校生の自宅外生の場合。)

※令和3年4月から各学校で申込受付開始  
※新型コロナの影響で家計が急変した場合も随時申込み可！

### 専門学校独自の授業料等減免など (「高等教育の修学支援新制度」対象外の世帯)

- 経済的に困難な専門学校生に対しては、**専門学校において授業料の納付猶予**や**専門学校独自に授業料等減免**を行っている場合もありますので、個別に学校に御相談ください。

### 日本学生支援機構の貸与型奨学金

無利子:年収～約800万円/有利子:年収～約1,100万円(4人世帯・私大・自宅通学)

- **無利子** 月額最大5.3万円(年額63.6万円)の貸与 (私立専門学校  
の自宅生の場合)
- **有利子** 月額最大12万円(年額144万円)の貸与 (私立専門学校  
の自宅生の場合)

※令和3年4月から各学校で申込受付開始

※新型コロナの影響で家計が急変した場合、無利子も随時申込み可！

- 無利子・有利子ともに、既に採用されている方で一時的にまとまった費用が必要な場合は、7月に7～9月分の振込支給を受けることもできます！
- 有利子については、新型コロナの影響で就職が決まらず、やむなく在学期間を延長する学生等や、ボランティア等により休学する学生等への貸与も実施！
- 返還に際しても、収入が一定額以下の場合、返還を猶予したり月々の返還額の減額、自治体や企業が代わって返還する制度など、様々な支援策があります！

### 生活に困難な方のその他支援策

- 国の教育ローン(日本政策金融公庫)専門学校生1人に最大450万円融資
- 緊急小口資金(特例貸付) 最大20万円の貸付債務免除の特例あり
- 生活福祉貸付金(教育支援資金) 最大月6.5万円無利子で貸付
- 母子父子寡婦福祉資金貸付金 ※ひとり親家庭のみ
- 地方創生臨時交付金 など

## アルバイト収入の減少にお悩みの専門学校生へ

### 日本学生支援機構の緊急特別無利子貸与型奨学金

家庭から多額の仕送りを受けておらず、アルバイト収入が大幅に減少した学生等に対し、**令和3年度に限り、月額2万～最大12万円(大学院生は15万円)を貸与**。※随時申込み可！

### 新型コロナウイルス対応休業支援金・給付金 (学生等が申請)

事業主から休業(時短勤務、シフト削減含む)させられたが休業手当の支払いを受けることができなかった労働者(学生アルバイト含む)が申請可能。**休業前賃金の8割(一部6割、一日上限11,000円)を給付**。

### 雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金(新型コロナに伴う特例措置) (事業主が申請)

事業活動の縮小している事業主が、労働者(学生アルバイト含む)を休業させ、休業手当を支払った場合に、その雇用維持の取組を助成金により支援。

具体的な要件や申請  
手続きの詳細はこちら



「高等教育の修学支援」公式キャラクター【まねこ先生(左)とまなびーちゃん(右)】





## (項目)

1. 専門学校概要等

---

**2. 職業実践専門課程**

---

3. 専修学校 #知る専

---

4. その他

---

# 職業実践専門課程の概要

## 平成23年1月 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」答申

- 職業教育を通じて、自立した職業人を育成し、社会・職業へ円滑に移行させること、また、学生・生徒の多様な職業教育ニーズや様々な職業・業種の人材需要にこたえていくことが求められており、このような**職業教育の重要性を踏まえた高等教育を展開していくことが必要**。
- 高等教育における職業教育を充実させるための方策の一つとして、**職業実践的な教育のための新たな枠組みを整備**。  
⇒ 新たな学校種の制度を創設するという方策とともに、既存の高等教育機関において**新たな枠組みの趣旨をいかしていく方策**も検討。

## 平成25年7月 「専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議」報告

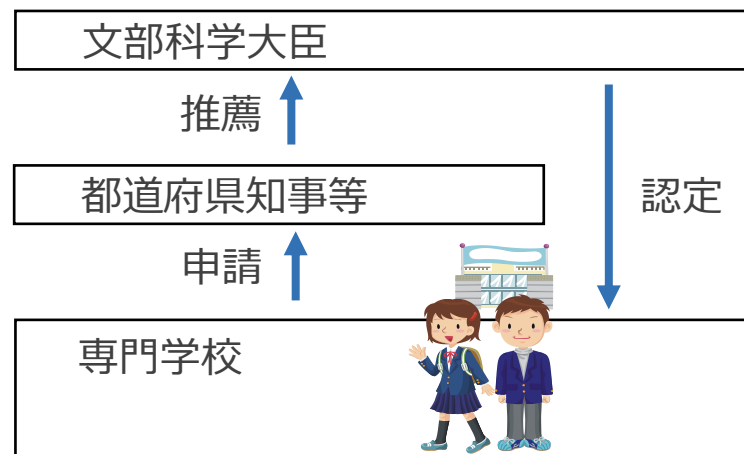
「新たな枠組み」の趣旨を専修学校の専門課程においていかしていく先導的試行として、企業等との密接な連携により、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する。

⇒平成25年8月 「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程(文部科学省告示第133号)」を公布・施行  
⇒平成26年3月31日「職業実践専門課程」を文部科学大臣が認定し、官報で告示。4月から認定された学科がスタート

## 平成29年3月 これからの専修学校教育の振興のあり方について（報告）

職業実践専門課程は、**教育の高度化と改革を目指す専門学校の取組の枠組**として位置づける。

### 認定要件等



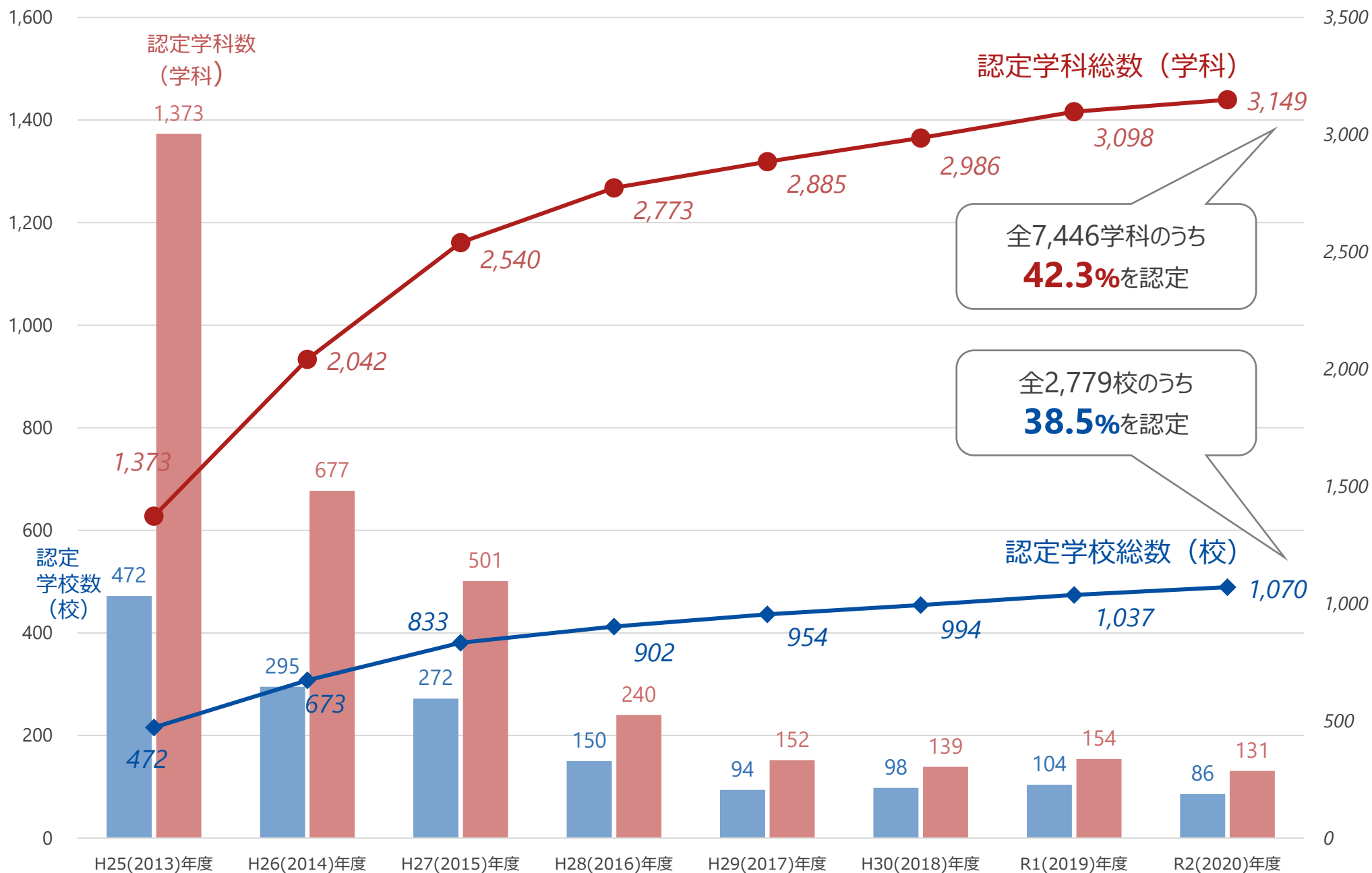
### －認定要件－

- 修業年限が**2年以上**
- 企業等と連携体制を確保して、授業科目等の**教育課程**を編成
- 企業等と連携して、**演習・実習等**を実施
- 総授業時数が**1700時間**以上または総単位数が**62単位**以上
- 企業等と連携して、教員に対し、実務に関する**研修を組織的に**実施
- 企業等と連携して、**学校関係者評価と情報公開**を実施

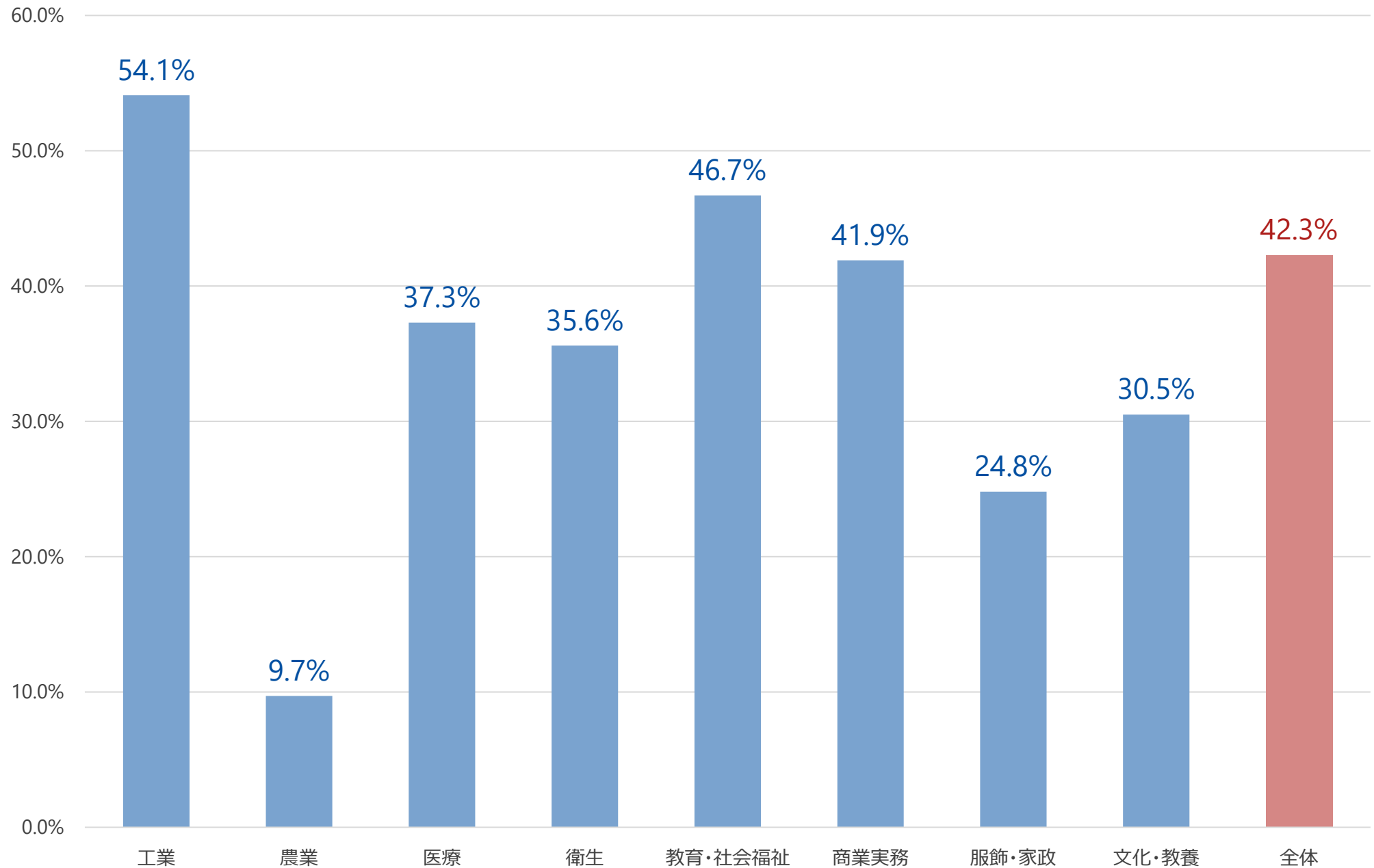
企業等との組織的連携

認定課程の可視化

# 職業実践専門課程における認定校数・認定学科数の推移

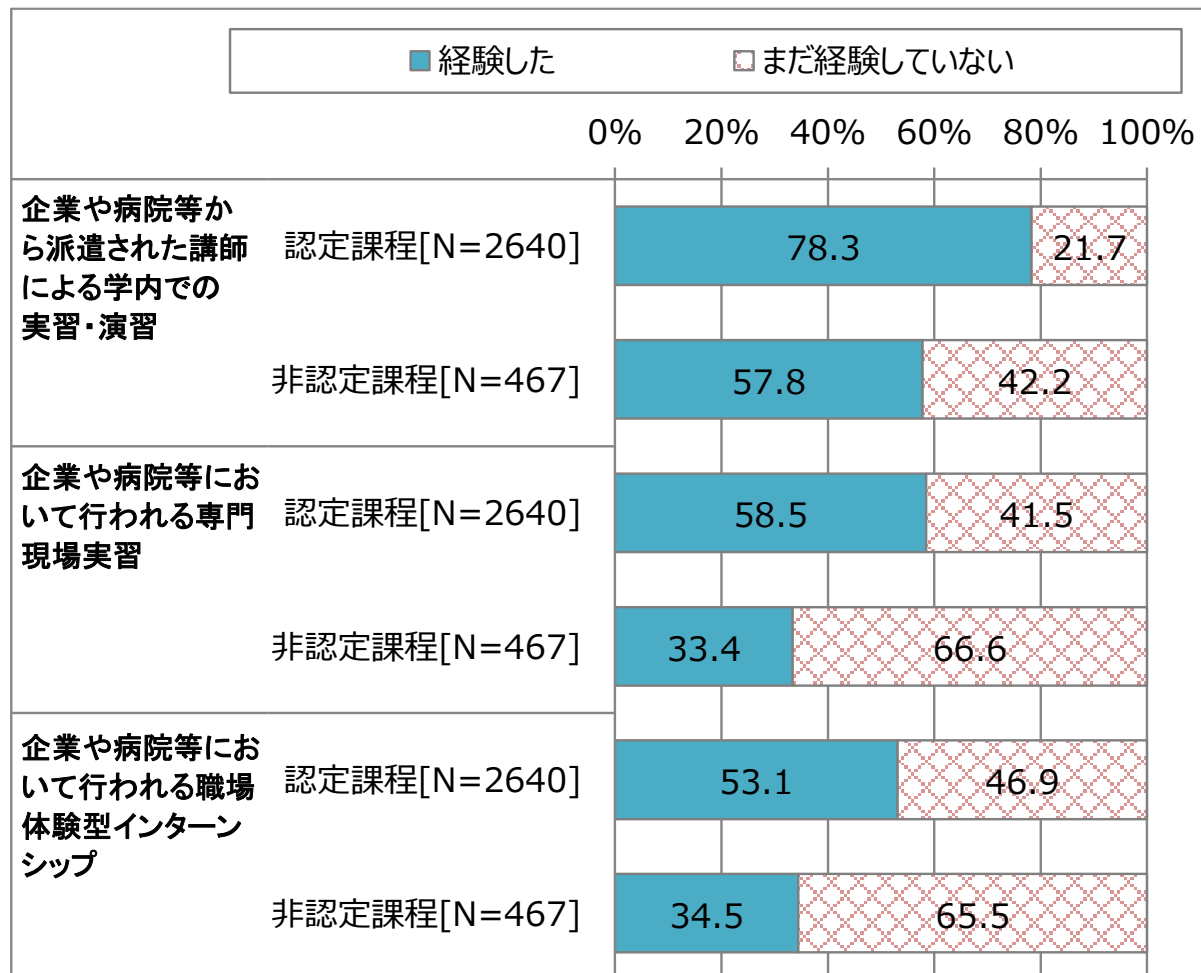


# 職業実践専門課程 認定学科における分野別認定割合



認定学科の学生の方が、企業等と連携した実践的な教育を経験。

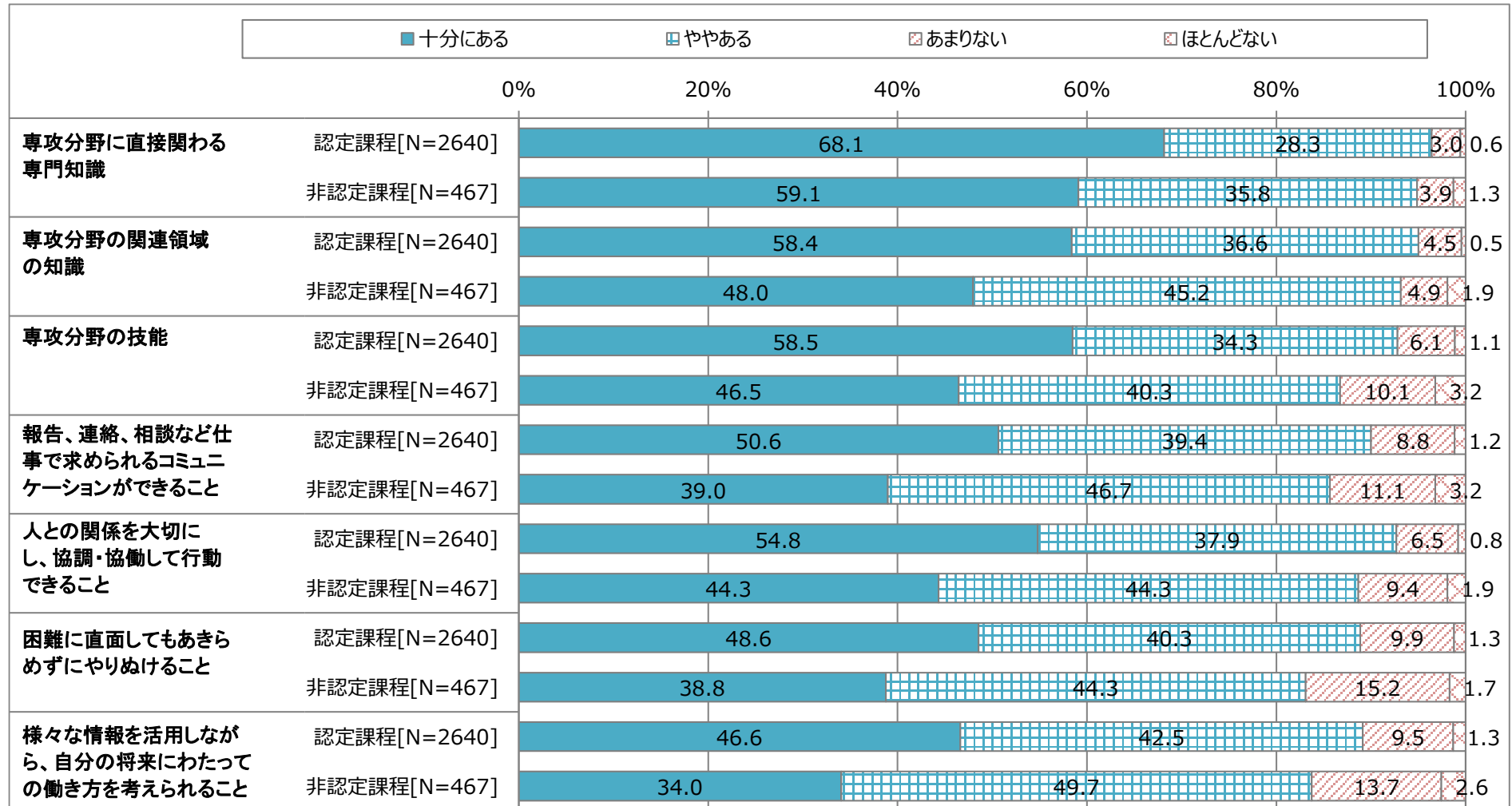
図表 企業等と連携した実践的な教育経験(認定有無別)



※文部科学省平成28年度委託事業「『職業実践専門課程』の実態等に関する調査研究」より

認定学科の学生の方が、さまざまな能力の習得機会が多い。

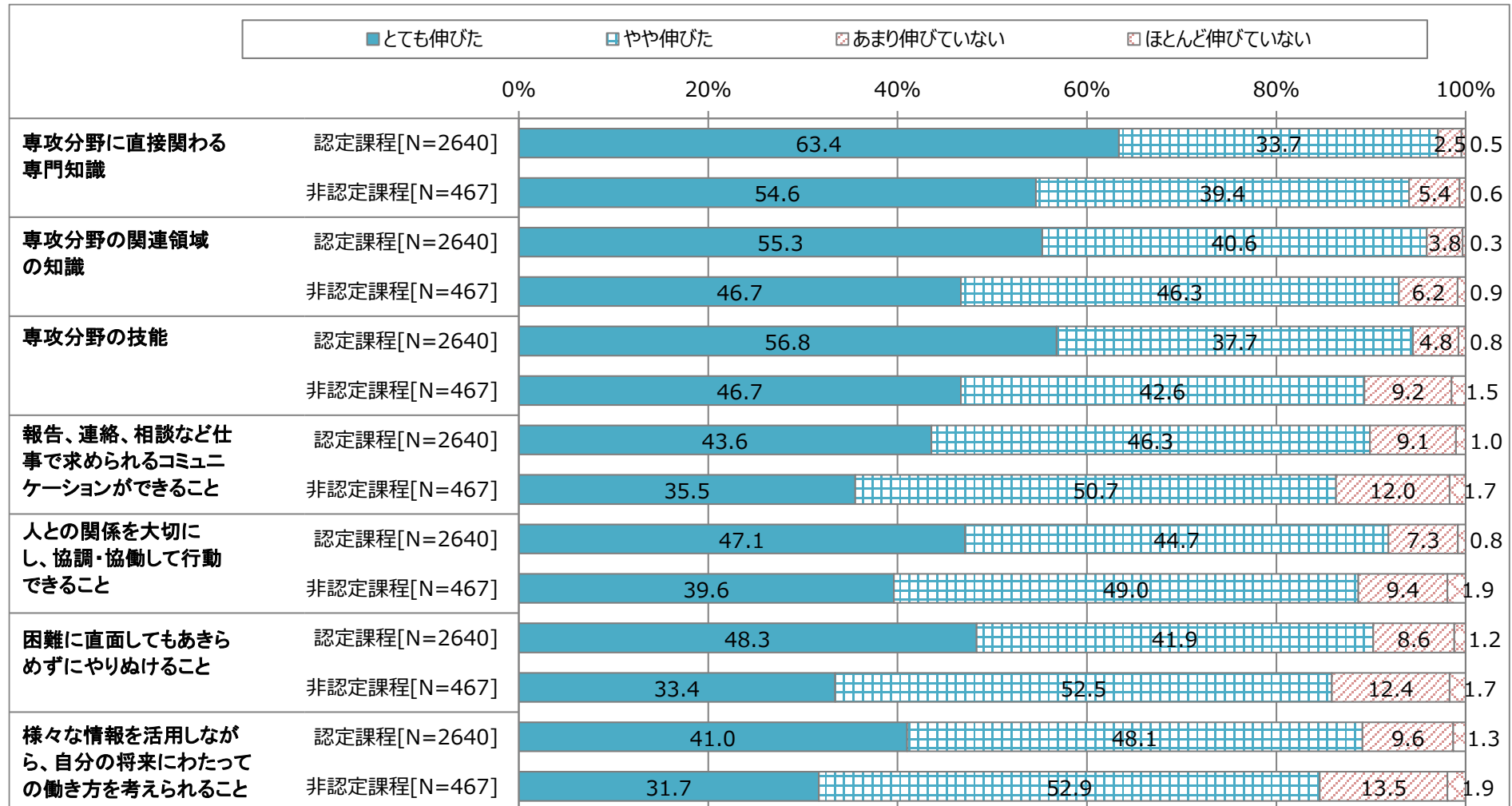
図表 能力を身につける機会（認定有無別）



※文部科学省平成28年度委託事業「『職業実践専門課程』の実態等に関する調査研究」より

認定学科の学生の方が、実際の能力習得実感が高い。

図表 入学以降の教育効果（認定有無別）



※文部科学省平成28年度委託事業「『職業実践専門課程』の実態等に関する調査研究」より

## (項目)

1. 専門学校の概要等

---

2. 職業実践専門課程

---

**3. 専修学校 #知る専**

---

4. その他

---

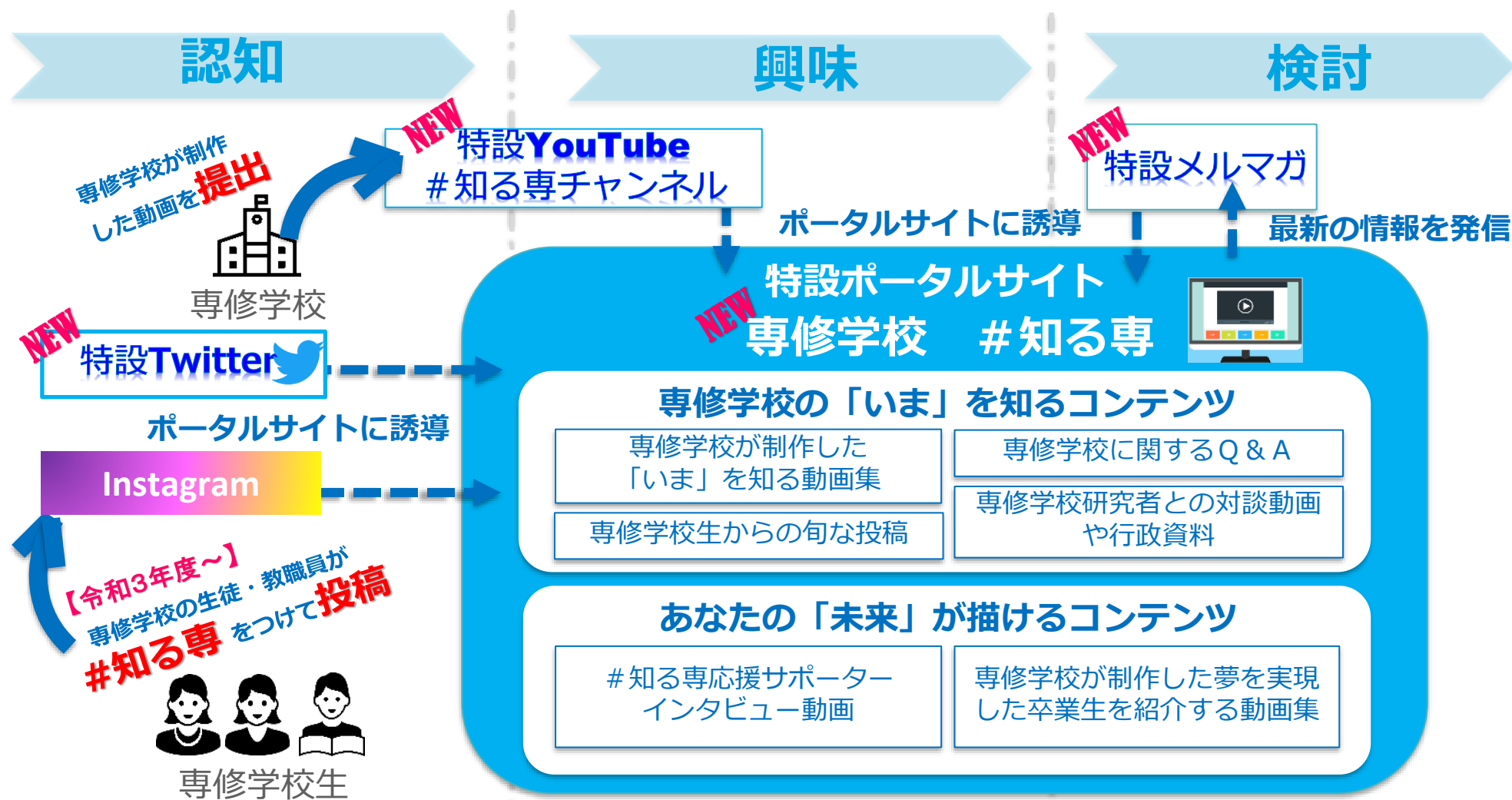


令和3年3月  
始動！

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある

# ★ 専修学校 #知る専 ★

- ▶ コロナ禍における実践事例を専修学校から集め、動画で配信したところ各方面から反響あり
- ▶ そこで、SNSやWebサイトを組み合わせながら、専修学校の魅力をさらに効果的に発信し、中高生が、専修学校を「認知」し、「興味」をもち、進路選択の「検討」につなげるために、新たな広報プロジェクト「専修学校 #知る専」をスタート！



# 特設ポータルサイトのイメージ

## 主なコンテンツ

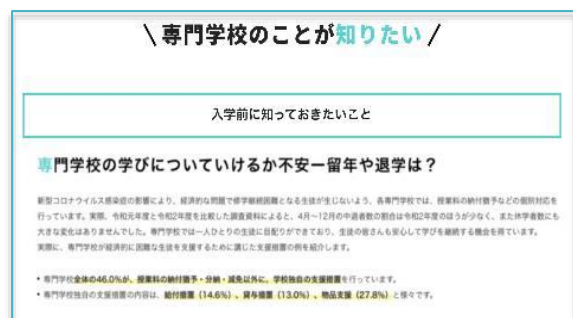
- ・専修学校での学びや仕組みをわかりやすくQ&Aで解説
- ・各専修学校が制作した、特色ある教育活動や卒業生から見た仕事の面白さなどテーマ別動画や記事を掲載
- ・専修学校を卒業し第一線で活躍する「#知る専応援サポーター」のインタビュー動画や有識者の対談動画などを掲載

## サイトのイメージ

### ◆トップ画面イメージ



### ◆専修学校って何？



### ◆専門家との対談動画



### ◆学校ムービー・卒業生ムービー（専修学校が制作した動画集）



### ◆#知る専応援サポーター



# 専修学校 #知る専 ロゴマークコンテスト

## 概要

中高生等に専修学校（専門学校、高等専修学校）の魅力を伝えるため、令和3年3月に立ち上げたウェブサイト「**専修学校 #知る専**」。  
この度、本ウェブサイトで実際に使用する**ロゴマーク**を専門学校生、高等専修学校生及び高校生等から募集。  
**文部科学大臣賞（最優秀賞）及び優秀賞を決定しました！**

## 文部科学大臣賞（最優秀賞）



【作者】  
仙台デザイン専門学校  
グラフィックデザイン学科（宮城県）  
宗像 杏さん

【作品のポイント】  
「知」の文字をデザイン化。「口」の部分  
を電球にし、学生の顔とすることで、「知  
る専」で学校情報が得られることを表現。  
全体的に丸く、柔らかい印象付けをした。

➤ 本作品を「**#知る専**」のロゴマークとして実際に使用します！

## コンテストについて

- 募集期間  
・ 令和3年7月12日～9月3日
- 応募総数：930点  
専門学校部：802点／高等学校・高等専修学校部：128点

## 【表彰式を開催しました！】

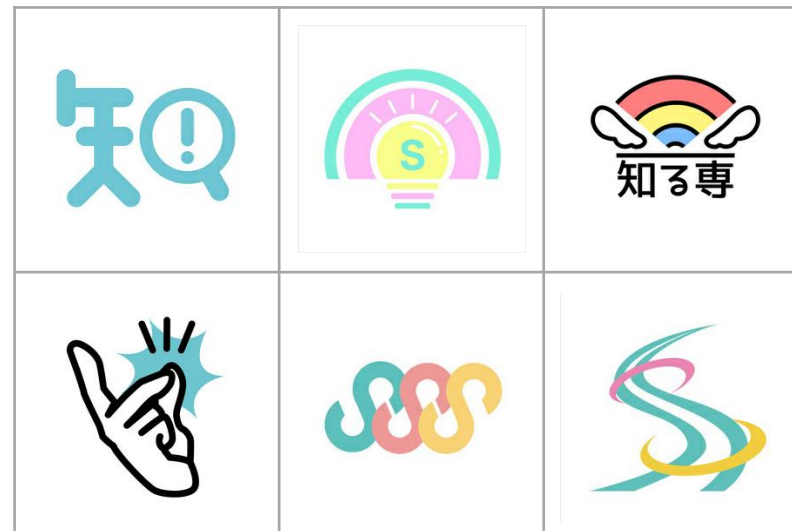
令和3年11月17日に、文部科学省にて表彰式を開催しました。

表彰式では、末松文部科学大臣より受賞者に対して表彰状が授与されました。



## 優秀賞

### ○専門学校の部



### ○高等学校・高等専修学校の部



## 【詳しくはこちら！】

- ・ 専修学校 #知る専（文部科学省HP）  
<https://shirusen.mext.go.jp/>



## (項目)

1. 専門学校の概要等

---

2. 職業実践専門課程

---

3. 専修学校 #知る専

---

4. その他

---

# 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果①（第19回・令和3年8月公表）

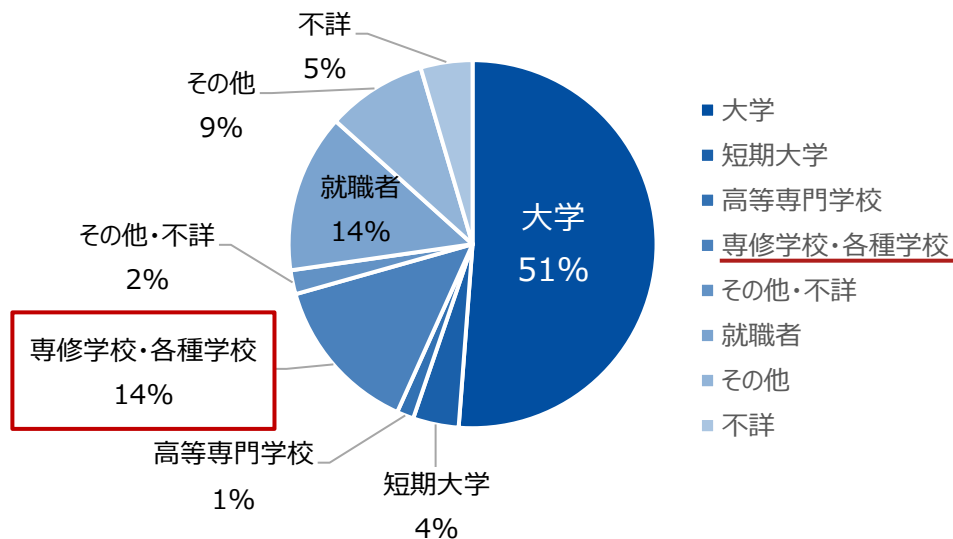
## 調査概要

目的	2001年（平成13年）出生児の出生時から学校教育、就業に至るまでを継続的に観察し、縦断データを整備することにより、教育に関する国の諸施策を検討・立案するための基礎資料を得る。
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の平成13年に出生した子供のうち、①1月10日～17日の間に出生した子（1月生）及び②7月10日～17日の間に出生した子（7月生）</li> <li>・今回は第19回目の調査であり、対象者の年齢は19歳。</li> <li>・回答者数は25,504名</li> </ul>
時期	令和2年2月28日～4月12日（1月生） 回答者数：12,702名 令和2年7月14日～9月22日（7月生） 回答者数：12,802名
調査項目	現在の状況、家族の状況、将来（進路等）等

## 調査結果概要

### 調査対象者の属性

➔ 調査対象者の14%は専修学校・各種学校の生徒である。



対象者数	状況	実数 (単位：人)	割合 (単位：%)
対象者数(総数)		25,504	100
在学者		18,548	72.7
	大学	13,061	51.2
	短期大学	1,025	4.0
	高等専門学校	379	1.5
	専修学校・各種学校	3,546	13.9
	その他・不詳	537	2.1
	就職者		3,553
その他		2,240	8.8
不詳		1,163	4.6

# 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果②（第19回・令和3年8月公表）

## ■ 前回調査の進学希望先と今回調査の進学実績

→ 前回（18回）調査で「専修学校・各種学校」が第一志望であった者のうち、93.8%は第一志望と同じ「専修学校・各種学校」に進学しており、他の学校種と比較して最も高い。

進学先（第19回調査） 第一志望（第18回調査）	総数	私立大学	国公立大学	短期大学・高等専門 学校(5年制)	専修学校・各種学校	外国の大学	その他	無回答等
総数	100.0	56.2	17.0	7.2	18.5	0.1	0.9	
私立大学	100.0	93.3	1.5	1.5	3.2	0.0	0.5	1.1
国公立大学	100.0	39.3	54.1	2.7	2.9	0.0	1.0	1.0
短期大学・高等専門学校（5年制）	100.0	1.7	0.0	93.8	3.7	0.0	0.8	0.1
専修学校・各種学校	100.0	1.6	0.2	2.9	93.8	0.0	1.5	0.5
外国の大学	100.0	7.4	7.4	14.8	3.7	48.1	18.5	10.0
まだ考えていない（考えていなかった）	100.0	24.4	0.0	56.4	10.3	0.0	9.0	0.0
その他	100.0	42.7	7.3	31.3	15.6	0.0	3.1	0.0
無回答等	100.0	45.9	10.9	9.5	22.6	0.5	6.1	4.5

※ 第19回調査において進学実績に係る回答を得た者を対象とし、その対象者について第18回調査の第一志望の進学希望先の回答別に進学実績を関連付けている。

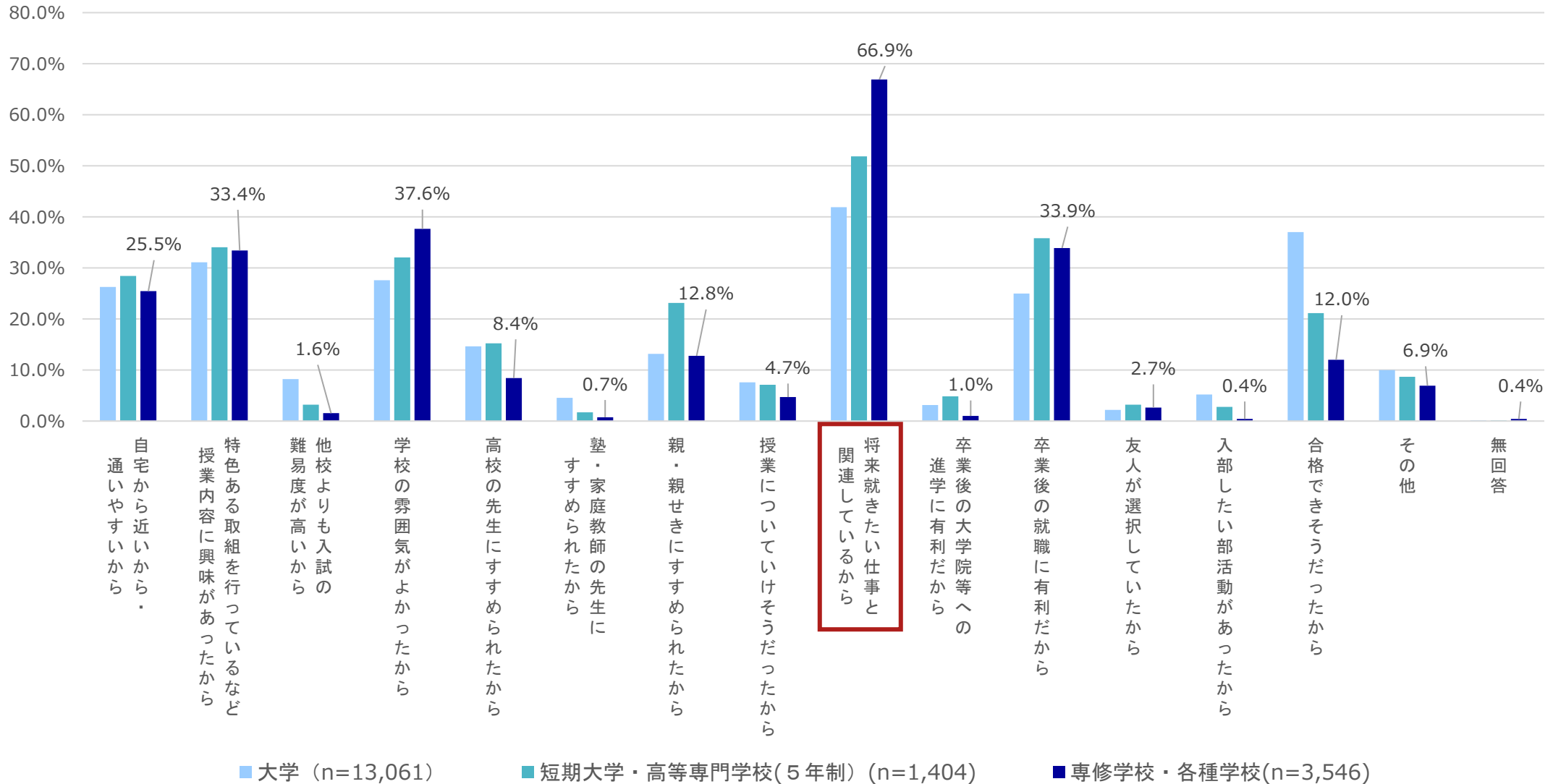
※ 黄色着色箇所は、第一志望の進学希望先と進学実績が同じであった者の割合。

※ 第19回調査及び第18回調査の両方の該当の間に回答した者のみを計上しており、一方が未回答であった者は計上していない。

# 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果③（第19回・令和3年8月公表）

## ■ 学校選択の理由

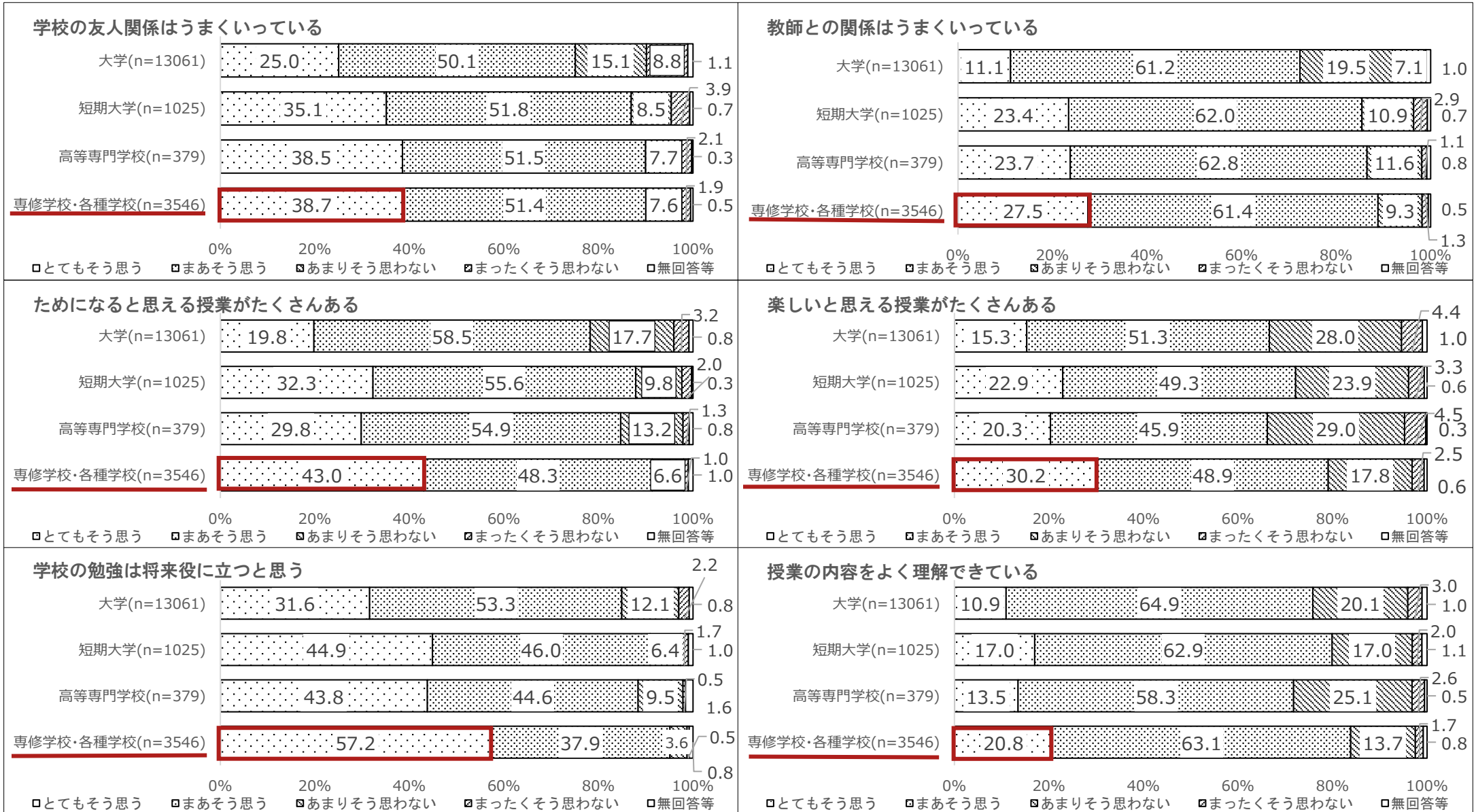
→専修学校・各種学校の在学者は、「将来就きたい職業と関連しているから」の割合が最も高く、他の学校種と比較しても最も高い。



# 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果④（第19回・令和3年8月公表）

## ■ 学校生活の満足度

→専修学校・各種学校の在学者は、全ての学校生活の満足度に係る項目について、「とてもそう思う」の割合が他の学校種と比較して最も高い。





# 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果⑤（第19回・令和3年8月公表）

## ■ 授業への取組状況

→全ての調査項目において、「ある程度あてはまる」「よくあてはまる」と回答した割合の合計について、専修学校・各種学校在学者が最も高い。

